

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和08年07月24日

計画の名称	富山市の交通結節点を中心とした都市基盤の整備													
計画の期間	令和07年度 ～ 令和11年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	富山市													
計画の目標	富山市の交通結節点へのアクセス道路や公共交通を支える道路ネットワークの形成により、安全・安心で災害に強い都市基盤を整備し、誰もが住みやすいまちづくりを推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		3,519	A	3,519	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R5末)	(R9末)	(R11末)
1	市内における道路ネットワークの形成率を0%（R5末）から100%（R11末）へ増加させる。			
	市内における道路ネットワークの形成率 （道路ネットワークの形成率）＝（対象路線の整備済延長）／（対象路線の総延長）×100（％）	0%	50%	100%
2	市道における歩行者・自転車に係る交通事故発生件数を105件（R5末）から95件（R11末）へ減少させる。			
	市道における歩行者・自転車に係る交通事故件数	105件	99件	95件

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中核都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	富山市	直接	富山市	S街路	改築	（都）西荒屋黒崎線 西 荒屋他	バイパス整備 0.52km	富山市	■	■	■	■	■	237		－	
	A01-002	街路	一般	富山市	直接	富山市	S街路	改築	（都）経堂中間島線 金 代他	バイパス整備 0.67km	富山市	■						40		－
	A01-003	街路	一般	富山市	直接	富山市	S街路	改築	（都）下赤江新庄線 上 飯野他	バイパス整備 0.84km	富山市	■	■	■	■	■		495		－
	A01-004	道路	一般	富山市	直接	富山市	市町村 道	改築	（他）水橋伊勢屋肘崎線 水橋伊勢屋他	バイパス整備 1.18km	富山市	■						68		－
	A01-005	道路	一般	富山市	直接	富山市	市町村 道	改築	（他）町村線 町村	バイパス整備 0.56km	富山市	■	■	■	■	■		357		－
	A01-006	道路	一般	富山市	直接	富山市	市町村 道	改築	（他）ハヶ山石坂線 八 ヶ山他	バイパス整備 0.85km	富山市	■	■					45		－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-007	道路	一般	富山市	直接	富山市	市町村 道	改築	（他）金屋線 下野新他	バイパス整備 1.15km	富山市	■	■	■	■	■	1,241		－	
	A01-008	道路	一般	富山市	直接	富山市	市町村 道	改築	（他）高木10号線他 高 木他	バイパス整備 1.19km	富山市	■	■	■	■	■	504		－	
	A01-009	街路	一般	富山市	直接	富山市	S街路	改築	（都）経堂中間島線（2期 ） 荒川他	バイパス整備 0.29km	富山市		■	■	■	■	532		－	
												小計						3,519		
											合計						3,519			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	285				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	285				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	114				
翌年度繰越額 (f)	171				
うち未契約繰越額(g)	171				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	60				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	R7補正の交付決定がR8.1であつたことから、年度内契約ができなかったため。				